

# 2019年度 国民体育大会 大分県予選大会組合せ表

- 九州ブロック国体、茨城国体出場時のチーム名は「**オール大分**」とする。
- 県大会優勝チームを主体に3名～4名の選手を補強し、優勝チームの監督が指揮し、県連役員と共に選手選考を行う。
- 大分県競技力向上対策本部の補助事業を活用し、九州ブロック国体前に県外遠征・強化試合を行うこととする。
- 監督は資格が必要になるので、九州ブロック国体出場時には検討が必要になる。
- 県大会は16チームで行い、**準決勝戦以降は2敗失格制とする。**
- 各支部は予選会を実施し県大会に出場するチームを選ぶ。
- 県大会は大分支部7チーム、鶴崎支部2チーム、別府支部2チーム、玖珠支部、臼杵支部、津久見支部、佐伯、宇佐支部は各1チームの合計16チームで行う。
- 試合は9回戦で行う。延長戦は10回から無死1・2塁(打者継続)での判定戦とする。敗者復活戦は7回戦とする。
- 6/8のOと6/9のR、Sの試合の延長戦は通常の延長戦を2回して12回からは無死1・2塁(打者継続)での判定戦とする。  
6/8のP、Qの敗者復活戦の延長戦は通常の延長戦を2回して10回からは無死1・2塁(打者継続)での判定戦とする。
- ワールドゲームについては、6/1と6/2の①②の試合、敗者復活戦については5回以降7点差、6/2の③以降は7回以降7点差とする。

別大 ～ 別大興産スタジアム  
 昭和 ～ 昭和電工スタジアム  
 大銀 ～ 大分銀行賀来球場  
 別府 ～ 別府市民球場  
 別実 ～ 別府実相寺球場

